

大学番号 私立104

注3

設置年度 平成 30年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

東京農業大学 農学部 デザイン農学科

注2

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東京農業大学
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名

シヨニン シミス マサキ
主任 清水 正樹

電話番号

03-5477-2650

（夜間）

同上

e-mail

kaiaku@nodai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

農学部

＜デザイン農学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	18
6. 附帯事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	31

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人東京農業大学

(2) 大学名

東京農業大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒243-0034
神奈川県厚木市船子1737
(〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オオサワ カンジュ) 大澤 貫寿 (平成23年7月)		
学長	(タカノ カツミ) 高野 克己 (平成25年7月)	(エグチ フミオ) 江口 文陽 (令和3年4月)	任期満了に伴い令和3年4月1日付で変更(3)
学部長	(オガワ ヒロシ) 小川 博 (平成28年4月)	(ババ タダシ) 馬場 正 (令和3年4月)	任期満了に伴い令和3年4月1日付で変更(3)
学科長等	(ナガシマ タカユキ) 長島 孝行 (平成30年4月)	(タダ コウタロウ) 多田 耕太郎 (令和3年4月)	任期満了に伴い令和3年4月1日付で変更(3)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
農学部 デザイン農学科 学士（農学）	農学関係	4年	123人	— 年次人	492人	新規入学者を募集	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	1.01 倍	— 倍	
志願者数	(—)	(—)	1,384	(—)	1,384	(—)	1,097	(—)	1,277	(—)			
受験者数	(—)	(—)	1,372	(—)	1,356	(—)	1,048	(—)	1,234	(—)			
合格者数	(—)	(—)	530	(—)	542	(—)	534	(—)	463	(—)			
B 入学者数	(—)	(—)	126	(—)	131	(—)	125	(—)	121	(—)			
入学定員超過率 B/A	—		1.02		1.06		1.01		0.98				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	126 [—] (—)	— [—] (—)	134 [1] (3)	— [—] (—)	128 [—] (3)	— [—] (—)	125 [1] (4)	— [—] (—)		
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	124 [—] (—)	— [—] (—)	128 [1] (2)	— [—] (—)	120 [1] (5)	— [—] (—)		
3年次			/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	122 [—] (—)	— [—] (—)	125 [1] (4)	— [—] (—)
4年次					/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	119 [—] (—)
計			— [—] (—)	126 [—] (—)			258 [1] (3)	378 [1] (5)	489 [3] (13)			

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数で記入**してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」**を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	126 人	0 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	258 人	0 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	378 人	4 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	1 人	0 人	修学の意思なし(1)
			令和元年度	3 人	0 人	一身上の都合(1)・病気のため(2)
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	489 人	10 人	平成29年度	人	0 人	
			平成30年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、他の教育機関への入学・転学(1人)、学生個人の心身に関する事情(1人)
			令和元年度	1 人	0 人	就学意欲の低下(1人)
			令和2年度	6 人	0 人	他の教育機関への入学・転学(4人)、除籍(2人)
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		14 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\text{—}} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{126} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{258} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{378} = \boxed{1.05} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{10}{489} = \boxed{2.04} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<農学部 デザイン農学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	導入科目	フレッシュマンセミナー	1前	2			5	5		4		
		共通演習	1後	1			5	5		4		
		情報基礎(一)	1前	2								1
		情報基礎(二)	1後	2								1
	関係科目	スポーツ・レクリエーション(一)	1前		1							2
		スポーツ・レクリエーション(二)	1後		1							2
	課題別科目	特別講義(一)	1前		2							1
		特別講義(二)	1前		2							1
		特別講義(三)	1前		2							1
		特別講義(四)	1前		2							1
		インターナショナル・スタディーズ(一)※	1前		2							12
	インターナショナル・スタディーズ(二)	1後		2							1	
	準備就職科目	キャリアデザイン	2前		1							1
		ビジネスマナー	2前		1							1
		インターンシップ	3後		1		1					
	リメディア教育科目	基礎生物	1前			2						1
		基礎化学	1前			2						1
		基礎数学	1前			2						1
		文章表現	1前			2						1
小計(19科目)	—	7	17	8	5	5	0	4	0	0	23	
外国語科目	基盤英語科目	英語(一)	1前	2								13
		英語(二)	1後	2								13
		英語(三)	2前	2								13
		英語(四)	2後	2								13
	実用英語科目	英語リーディング(一)	1前		2							3
		英語リーディング(二)	1後		2							3
		英会話(一)	2前		2							1
		英会話(二)	2後		2							1
		TOEIC英語(一)	2前		2							3
		TOEIC英語(二)	2後		2							3
	実用英語科目	英語プレゼンテーション(一)	3前		2							1
		英語プレゼンテーション(二)	3後		2							1
		科学英語(一)	3後		2							1
		科学英語(二)	4前		2							1
	初修外国語科目	中国語(一)	2前		2							2
		中国語(二)	2後		2							2
		スペイン語(一)	2前		2							1
		スペイン語(二)	2後		2							1
小計(18科目)	—	8	28	0	0	0	0	0	0	0	18	
専門教育科目	人間関係科目	科学と哲学	2前		2							1
		芸術	2前		2							1
		生命倫理	2後		2							1
		文化人類学	2後		2							1
	社会関係科目	経済入門	2前		2							1
		国際関係を考える	2前		2							1
		日本国憲法	2後		2							1
		現代社会の諸問題	2後		2							1
	自然関係科目	生物学	1後		2							1
		化学	1後		2							1
		数学	1後		2							1
		物理学	1後		2							1
		地学	2前		2							1
小計(13科目)	—	0	26	0	0	0	0	0	0	0	10	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	導入科目	フレッシュマンセミナー	1前	2			6	5		4		
		共通演習	1後	1			5	5		4		
		情報基礎(一)	1前	2								1
		情報基礎(二)	1後	2								1
	関係科目	スポーツ・レクリエーション(一)	1前		1							2
		スポーツ・レクリエーション(二)	1後		1							2
	課題別科目	特別講義(一)	1前		2							1
		特別講義(二)	1前		2							1
		特別講義(三)	1前		2							1
		特別講義(四)	1前		2							1
		インターナショナル・スタディーズ(一)※	1前		2							13
	インターナショナル・スタディーズ(二)	1後		2							1	
	準備就職科目	キャリアデザイン	2前		1							1
		ビジネスマナー	2前		1							1
		インターンシップ	3後		1		1					
	リメディア教育科目	基礎生物	1前			2						1
		基礎化学	1前			2						1
		基礎数学	1前			2						1
		文章表現	1前			2						1
小計(19科目)	—	7	17	8	6	5	0	4	0	0	22	
外国語科目	基盤英語科目	英語(一)	1前	2								7
		英語(二)	1後	2								7
		英語(三)	2前	2								7
		英語(四)	2後	2								7
	実用英語科目	英語リーディング(一)	1前		2							3
		英語リーディング(二)	1後		2							3
		英会話(一)	2前		2							2
		英会話(二)	2後		2							2
		TOEIC英語(一)	2前		2							2
		TOEIC英語(二)	2後		2							2
	実用英語科目	英語プレゼンテーション(一)	3前		2							1
		英語プレゼンテーション(二)	3後		2							1
		科学英語(一)	3後		2							1
		科学英語(二)	4前		2							1
	初修外国語科目	中国語(一)	2前		2							3
		中国語(二)	2後		2							3
		スペイン語(一)	2前		2							2
		スペイン語(二)	2後		2							2
小計(18科目)	—	8	28	0	0	0	0	0	0	0	20	
専門教育科目	人間関係科目	科学と哲学	2前		2							1
		芸術	2前		2							1
		生命倫理	2後		2							1
		文化人類学	2後		2							1
	社会関係科目	経済入門	2前		2							1
		国際関係を考える	2前		2							1
		日本国憲法	2後		2							1
		現代社会の諸問題	2後		2							1
	自然関係科目	生物学	1後		2							1
		化学	1後		2							1
		数学	1後		2							1
		物理学	1後		2							1
		地学	2前		2							1
小計(13科目)	—	0	26	0	0	0	0	0	0	0	12	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門共通科目	農学原論※	1前	2			2					2	
	農業実習(一)※	1前	3			5	5		4			
	基礎演習	1前	1			5	5		4			
	農業実習(二)※	1後	3			5	5		4			
	心理学概論	1後		2							1	
	生化学	2後		2							1	
	環境科学	3前		2							1	
	知的財産論	3前		2							1	
	動植物園論	3後		2							1	
	小計(11科目)	—	9	14	0	5	5	0	4	0	8	
専門基礎科目	デザイン農学概論※	1前	2			5						
	バイオテクノロジー論	1後	2			1						
	サステナビリティ農学	1後	2			1						
	畜産物利用論※	2前	2			1			2			
	農産物利用論※	2前	2			1	1		1			
	生活デザイン農学※	2前	2			1	2					
	デザイン農学基礎実験実習・演習	2前	3			5	5		5			
	食品化学※	2前	2			1			2			
	デザイン農学栽培入門※	2前	2			1	1		1			
	デザイン農学専攻別実験実習・演習※	2後	3			5	5		5			
	実験計画法※	2後	2			2	2		2		1	
	社会デザイン農学※	2後	2			1	1		1			
	活用動物飼育学※	2後	2			1			1			
	食品分析学	3前	2			1						
小計(14科目)	—	26	4	0	5	5	0	5	0	1		
専門コア科目	生物介在療法学※	2後	2			2			2			
	サイエンスコミュニケーション論※	2後	2			2			1			
	栄養調理学※	2後	2	2		1	1		1			
	食品管理学※	2後	2	2		2	1		2			
	バイオミクリー論※	3前	2	2		1	1					
	ESD概論※	3前	2	2		1	1		2			
	農福医連携デザイン農学※	3前	2	2		2			1			
	食品機能学※	3後	2	2		2	1		2			
	食品微生物学※	3後	2	2		1			2			
	生き物活用法※	3後	2	2		1	2					
小計(10科目)	—	4	16	0	5	5	0	5	0	0		
学際領域科目	動物管理学※	1後	2						1		3	
	農業気象学	2前	2								1	
	植物栄養学	2前	2								1	
	動物解剖学※	3前	2			1					3	
	植物生理生態学	3前	2								1	
	農業経営学	3後	2								1	
	生命科学	3後	2								2	
	自然再生技術論	3後	2								1	
	植物生長調節論	3後	2								2	
	分子生物学※	3後	2								5	
	農産物マーケティング論	3後	2								1	
	植物防疫論	3後	2								3	
小計(12科目)	—	0	24	0	0	1	0	1	0	19		
総合化科目	専攻基礎実験実習・演習(一)	3前	3			5	5		5			
	専攻基礎実験実習・演習(二)	3後	3			5	5		5			
	専攻応用実験実習・演習(一)	4前	3			5	5		5			
	専攻応用実験実習・演習(二)	4後	3			5	5		5			
	卒業論文	4通	4			5	5		5			
小計(5科目)	—	16	0	0	5	5	0	5	0	0		
合計(102科目)	—	70	129	8	5	5	0	5	0	76		

卒業要件及び履修方法

必修科目70単位、選択必修科目12単位(人間関係科目の中から4単位、社会関係科目の中から4単位、自然関係科目の中から4単位)、選択科目42単位以上(ただし、学科専門科目の中から14単位以上)を修得し、合計124単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限:44単位(年間))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門共通科目	農学原論※	1前	2			2					2	
	農業実習(一)※	1前	3			6	5		4			
	基礎演習	1前	1			5	5		4			
	農業実習(二)※	1後	3			6	5		4			
	心理学概論	1後		2							1	
	生化学	2後		2							1	
	環境科学	3前		2							1	
	知的財産論	3前		2							1	
	動植物園論	3後		2							1	
	小計(11科目)	—	9	14	0	6	5	0	4	0	8	
専門基礎科目	デザイン農学概論※	1前	2			5						
	バイオテクノロジー論※	1後	2			1	1					
	サステナビリティ農学	1後	2			1	1		1			
	畜産物利用論※	2前	2			1	1		1			
	農産物利用論※	2前	2			1	1		1			
	生活デザイン農学※	2前	2			2	1		4			
	デザイン農学基礎実験実習・演習	2前	3			6	5		5			
	食品化学※	2前	2			1	1		1			
	デザイン農学栽培入門※	2前	2			2	2		1			
	デザイン農学専攻別実験実習・演習※	2後	3			6	5		4			
	実験計画法※	2後	2			2	3		1		1	
	社会デザイン農学※	2後	2			1	1		1			
	活用動物飼育学※	2後	2			1			1			
	食品分析学	3前	2			1						
小計(14科目)	—	26	4	0	6	5	0	4	0	1		
専門コア科目	生物介在療法学※	2後	2			1	1					
	サイエンスコミュニケーション論※	2後	2			2	1		1			
	栄養調理学※	2後	2	2		1	1		1			
	食品管理学※	2後	2	2		2	2		1			
	バイオミクリー論※	3前	2	2		1	1					
	ESD概論※	3前	2	2		1	1		2			
	農福医連携デザイン農学※	3前	2	2		1	1		1			
	食品機能学※	3後	2	2		2	1		2			
	食品微生物学※	3後	2	2		1	1		1			
	生き物活用法※	3後	2	2		2	1					
小計(10科目)	—	4	16	0	6	5	0	4	0	0		
学際領域科目	動物管理学※	1後	2							1	3	
	農業気象学	2前	2								1	
	植物栄養学	2前	2								1	
	動物解剖学※	3前	2			1					3	
	植物生理生態学	3前	2						1		2	
	農業経営学	3後	2								1	
	生命科学	3後	2								2	
	自然再生技術論	3後	2								1	
	植物生長調節論	3後	2								2	
	分子生物学※	3後	2								5	
	農産物マーケティング論	3後	2								1	
	植物防疫論	3後	2								3	
小計(12科目)	—	0	24	0	0	1	0	1	0	24		
総合化科目	専攻基礎実験実習・演習(一)	3前	3			6	5		4			
	専攻基礎実験実習・演習(二)	3後	3			6	5		4			
	専攻応用実験実習・演習(一)	4前	3			6	5		4			
	専攻応用実験実習・演習(二)	4後	3			6	5		4			
	卒業論文	4通	4			6	5		4			
小計(5科目)	—	16	0	0	6	5	0	4	0	0		
合計(102科目)	—	70	129	8	6	5	0	4	0	82		

卒業要件及び履修方法

必修科目70単位、選択必修科目12単位(人間関係科目の中から4単位、社会関係科目の中から4単位、自然関係科目の中から4単位)、選択科目42単位以上(ただし、学科専門科目の中から14単位以上)を修得し、合計124単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限:44単位(年間))

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合教育科目	導入科目	フレッシュマンセミナー	1前	2			6	4			4		
		共通演習	1後	2			6	4			4		
		情報基礎(一)	1前	2									1
	関係科目	スポーツ・レクリエーション(一)	1前		1								2
		スポーツ・レクリエーション(二)	1後		1								2
	課題別科目	特別講義(一)	1前		2								1
		特別講義(二)	1前		2								1
		特別講義(三)	1前		2								1
		特別講義(四)	1前		2								1
		インターナショナル・スタディーズ(一)※	1前		2								12
	準備科目	キャリアデザイン	2前		1								1
		ビジネスマナー	2前		1								1
		インターンシップ	3後		1		1						
	リメディア教育科目	基礎生物	1前			2							1
		基礎化学	1前			2							1
		基礎数学	1前			2							1
		文章表現	1前			2							1
	小計(19科目)			—	7	17	8	6	4	0	5	0	23
	外国語科目	基礎英語科目	英語(一)	1前	2								
英語(二)			1後	2									8
英語(三)			2前	2									8
英語(四)			2後	2									7
実用英語科目		英語リーディング(一)	1前		2								3
		英語リーディング(二)	1後		2								3
		英会話(一)	2前		2								3
		英会話(二)	2後		2								2
		TOEIC英語(一)	2前		2								4
		TOEIC英語(二)	2後		2								4
実用英語科目		英語プレゼンテーション(一)	3前		2								1
		英語プレゼンテーション(二)	3後		2								1
		科学英語(一)	3後		2								1
		科学英語(二)	4前		2								1
初修外国語科目	中国語(一)	2前		2								3	
	中国語(二)	2後		2								3	
	スペイン語(一)	2前		2								2	
	スペイン語(二)	2後		2								2	
小計(18科目)			—	8	28	0	0	0	0	0	0	25	
専門教育科目	人間関係科目	科学と哲学	2前		2								1
		芸術	2前		2								1
		生命倫理	2後		2								1
		文化人類学	2後		2								1
	社会関係科目	経済入門	2前		2								1
		国際関係を考える	2前		2								1
		日本国憲法	2後		2								1
		現代社会の諸問題	2後		2								1
		生物学	1後		2								1
	自然関係科目	化学	1後		2								1
		数学	1後		2								1
		物理学	1後		2								1
		地学	2前		2								1
小計(13科目)			—	0	26	0	0	0	0	0	0	10	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合教育科目	導入科目	フレッシュマンセミナー	1前	2			6	5			4		
		共通演習	1後	2			6	5			4		
		情報基礎(一)	1前	2									1
	関係科目	スポーツ・レクリエーション(一)	1前		1								2
		スポーツ・レクリエーション(二)	1後		1								2
	課題別科目	特別講義(一)	1前		2								1
		特別講義(二)	1前		2								1
		特別講義(三)	1前		2								1
		特別講義(四)	1前		2								1
		インターナショナル・スタディーズ(一)※	1前		2								13
	準備科目	キャリアデザイン	2前		1								1
		ビジネスマナー	2前		1								1
		インターンシップ	3後		1		1						
	リメディア教育科目	基礎生物	1前			2							1
		基礎化学	1前			2							1
		基礎数学	1前			2							1
		文章表現	1前			2							1
	小計(19科目)			—	7	17	8	6	5	0	4	0	24
	外国語科目	基礎英語科目	英語(一)	1前	2								
英語(二)			1後	2									7
英語(三)			2前	2									8
英語(四)			2後	2									8
実用英語科目		英語リーディング(一)	1前		2								3
		英語リーディング(二)	1後		2								3
		英会話(一)	2前		2								3
		英会話(二)	2後		2								3
		TOEIC英語(一)	2前		2								2
		TOEIC英語(二)	2後		2								2
実用英語科目		英語プレゼンテーション(一)	3前		2								1
		英語プレゼンテーション(二)	3後		2								1
		科学英語(一)	3後		2								1
		科学英語(二)	4前		2								1
初修外国語科目	中国語(一)	2前		2								4	
	中国語(二)	2後		2								4	
	スペイン語(一)	2前		2								2	
	スペイン語(二)	2後		2								2	
小計(18科目)			—	8	28	0	0	0	0	0	0	23	
専門教育科目	人間関係科目	科学と哲学	2前		2								1
		芸術	2前		2								1
		生命倫理	2後		2								1
		文化人類学	2後		2								1
	社会関係科目	経済入門	2前		2								1
		国際関係を考える	2前		2								1
		日本国憲法	2後		2								1
		現代社会の諸問題	2後		2								1
		生物学	1後		2								1
	自然関係科目	化学	1後		2								1
		数学	1後		2								1
		物理学	1後		2								1
		地学	2前		2								1
小計(13科目)			—	0	26	0	0	0	0	0	0	10	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門共通科目	農学原論※	1前	2			2						2
	農業実習(一)※	1前	3			6	4			4		
	基礎演習	1前	1			6	4			4		
	農業実習(二)※	1後	3			6	4			4		
	心理学概論	1後		2								1
	生化学	2後		2								1
	環境科学	3前		2								1
	知的財産論	3前		2								1
	動植物園論	3後		2								1
	創生型	農業インターンシップ(一)	1前		2							1
創生型	農業インターンシップ(二)	1後		2							1	
小計(11科目)			—	9	14	0	6	4	0	12	0	7
専門基礎科目	デザイン農学概論※	1前	2			5						
	バイオテクノロジー論	1後	2			1						
	サステナビリティ農学	1後	2			1						
	畜産物利用論※	2前	2			1			2			
	農産物利用論※	2前	2			1			1			
	生活デザイン農学※	2前	2			2	1					
	デザイン農学基礎実験実習・演習	2前	3			6	4			5		
	食品化学※	2前	2			1			2			
	デザイン農学栽培入門※	2前	2	2		2			1			
	デザイン農学専攻別実験実習・演習※	2後	3			6	4			5		
	実験計画法※	2後	2				2		2			1
	社会デザイン農学※	2後	2			1	1		1			
	活用動物飼育学※	2後	2	2		1	1		1			
	食品分析学	3前	2			1						
小計(14科目)			—	26	4	0	6	5	0	4	0	1
専門コア科目	生物介在療法学※	2後	2			1	1					
	サイエンスコミュニケーション論※	2後	2			2			1			
	栄養調理学※	2後	2	2		1	1		1			
	食品管理学※	2後	2	2		2	1		2			
	バイオミクリー論※	3前	2	2		1	1					
	ESD概論※	3前	2	2		1	1		2			
	農福医連携デザイン農学※	3前	2	2		1	1		1			
	食品機能学※	3後	2	2		2	1		2			
	食品微生物学※	3後	2	2		1			2			
	生き物活用法※	3後	2	2		2	1					
小計(10科目)			—	4	16	0	6	4	0	4	0	0
学際領域科目	動物管理学※	1後	2						1			3
	農業気象学	2前	2									1
	植物栄養学	2前	2									1
	動物解剖学※	3前	2				1					3
	植物生理生態学	3前	2									1
	農業経営学	3後	2									1
	生命科学	3後	2									1
	自然再生技術論	3後	2									1
	植物生長調節論	3後	2									1
	分子生物学※	3後	2									5
	農産物マーケティング論	3後	2									1
	植物防疫論	3後	2									1
小計(12科目)			—	0	24	0	0	1	0	1	0	17
総合化科目	専攻基礎実験実習・演習(一)	3前	3			6	4			5		
	専攻基礎実験実習・演習(二)	3後	3			6	4			5		
	専攻応用実験実習・演習(一)	4前	3			6	4			5		
	専攻応用実験実習・演習(二)	4後	3			6	4			5		
	卒業論文	4通	4			6	4			5		
小計(5科目)			—	16	0	0	6	4	0	5	0	0
合計(102科目)			—	70	129	8	6	5	0	5	0	81
卒業要件及び履修方法												
必修科目70単位、選択必修科目12単位(人間関係科目の中から4単位、社会関係科目の中から4単位、自然関係科目の中から4単位)、選択科目42単位以上(ただし、学科専門科目の中から14単位以上)を修得し、合計124単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限:44単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門共通科目	農学原論※	1前	2			2						2
	農業実習(一)※	1前	3			6	5			4		
	基礎演習	1前	1			6	5			4		
	農業実習(二)※	1後	3			6	5			4		
	心理学概論	1後		2								1
	生化学	2後		2								1
	環境科学	3前		2								1
	知的財産論	3前		2								1
	動植物園論	3後		2								1
	創生型	農業インターンシップ(一)	1前		2							1
創生型	農業インターンシップ(二)	1後		2							1	
小計(11科目)			—	9	14	0	6	5	0	4	0	7
専門基礎科目	デザイン農学概論※	1前	2			5						
	バイオテクノロジー論	1後	2			1						
	サステナビリティ農学	1後	2			1						
	畜産物利用論※	2前	2			1	1		1			
	農産物利用論※	2前	2			1	1		1			
	生活デザイン農学※	2前	2			2	1					
	デザイン農学基礎実験実習・演習	2前	3			6	5			4		
	食品化学※	2前	2			1	1		1			
	デザイン農学栽培入門※	2前	2	2		2			1			
	デザイン農学専攻別実験実習・演習※	2後	3			6	5			4		
	実験計画法※	2後	2				3		1			1
	社会デザイン農学※	2後	2			1	1		1			
	活用動物飼育学※	2後	2	2		1	1		1			
	食品分析学	3前	2			1						
小計(14科目)			—	26	4	0	6	5	0	4	0	1
専門コア科目	生物介在療法学※	2後	2			1	1					
	サイエンスコミュニケーション論※	2後	2			2			1			
	栄養調理学※	2後	2	2		1	1		1			
	食品管理学※	2後	2	2		2	2		1			
	バイオミクリー論※	3前	2	2		1	1					
	ESD概論※	3前	2	2		1	1		2			
	農福医連携デザイン農学※	3前	2	2		1	1		1			
	食品機能学※	3後	2	2		2	1		2			
	食品微生物学※	3後	2	2		1	1		1			
	生き物活用法※	3後	2	2		2	1					
小計(10科目)			—	4	16	0	6	4	0	4	0	0
学際領域科目	動物管理学※	1後	2							1		3
	農業気象学	2前	2									1
	植物栄養学	2前	2									1
	動物解剖学※	3前	2				1					3
	植物生理生態学	3前	2									1
	農業経営学	3後	2									1
	生命科学	3後	2									1
	自然再生技術論	3後	2									1
	植物生長調節論	3後	2									1
	分子生物学※	3後	2									5
	農産物マーケティング論	3後	2									1
	植物防疫論	3後	2									1
小計(12科目)			—	0	24	0	0	1	0	1	0	17
総合化科目	専攻基礎実験実習・演習(一)	3前	3			6	5			4		
	専攻基礎実験実習・演習(二)	3後	3			6	5			4		
	専攻応用実験実習・演習(一)	4前	3			6	5			4		
	専攻応用実験実習・演習(二)	4後	3			6	5			4		
	卒業論文	4通	4			6	5			4		
小計(5科目)			—	16	0	0	6	5	0	4	0	0
合計(102科目)			—	70	129	8	6	5	0	4	0	82
卒業要件及び履修方法												
必修科目70単位、選択必修科目12単位(人間関係科目の中から4単位、社会関係科目の中から4単位、自然関係科目の中から4単位)、選択科目42単位以上(ただし、学科専門科目の中から14単位以上)を修得し、合計124単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限:44単位(年間))												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
総合教育科目	導入科目	フレッシュマンセミナー	1前	2			6	5		4		
		共通演習	1後	1			6	5		4		
		情報基礎(一)	1前	2								1
		情報基礎(二)	1後	2								1
	関係科目	スポーツ・レクリエーション(一)	1前		1							2
		スポーツ・レクリエーション(二)	1後		1							2
	課題別科目	特別講義(一)	1前		2							1
		特別講義(二)	1前		2							1
		特別講義(三)	1前		2							1
		特別講義(四)	1前		2							1
		国際ナショナル・スタディーズ(一)※	1前		2							13
	国際ナショナル・スタディーズ(二)	1後		2							1	
	準備科目	キャリアデザイン	2前		1							1
		ビジネスマナー	2前		1							1
		インターンシップ	3後		1		1					
	リメデリアル教育科目	基礎生物	1前			2						1
		基礎化学	1前			2						1
		基礎数学	1前			2						1
		文章表現	1前			2						1
	小計(19科目)	—	7	17	8	6	5	0	4	0	25	
外国語科目	基礎英語科目	英語(一)	1前	2								7
		英語(二)	1後	2								7
		英語(三)	2前	2								8
		英語(四)	2後	2								8
	実用英語科目	英語リーディング(一)	1前		2							3
		英語リーディング(二)	1後		2							3
		英会話(一)	2前		2							2
		英会話(二)	2後		2							2
		TOEIC英語(一)	2前		2							2
		TOEIC英語(二)	2後		2							2
	実用英語科目	英語プレゼンテーション(一)	3前		2							1
		英語プレゼンテーション(二)	3後		2							1
		科学英語(一)	3後		2							1
		科学英語(二)	4前		2							1
	初修外国語科目	中国語(一)	2前		2							4
		中国語(二)	2後		2							4
		スペイン語(一)	2前		2							2
スペイン語(二)		2後		2							2	
	小計(18科目)	—	8	28	0	0	0	0	0	0	22	
専門教育科目	人間関係科目	科学と哲学	2前		2							1
		芸術	2前		2							1
		生命倫理	2後		2							1
		文化人類学	2後		2							1
	社会関係科目	経済入門	2前		2							1
		国際関係を考える	2前		2							1
		日本国憲法	2後		2							1
		現代社会の諸問題	2後		2							1
	自然関係科目	生物学	1後		2							1
		化学	1後		2							1
		数学	1後		2							1
		物理学	1後		2							1
		地学	2前		2							1
	小計(13科目)	—	0	26	0	0	0	0	0	0	12	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門共通科目	農学原論※	1前	2			2					2	
	農業実習(一)※	1前	3			6	5		4			
	基礎演習	1前	1			6	5		4			
	農業実習(二)※	1後	3			6	5		4			
	心理学概論	1後		2							1	
	生化学	2後		2							1	
	環境科学	3前		2							1	
	知的財産論	3前		2							1	
	動植物園論	3後		2							1	
	創生型	農業インターンシップ(一)	1前		2							1
	農業インターンシップ(二)	1後		2								1
小計(11科目)			—	9	14	0	6	5	0	4	0	8
専門基礎科目	デザイン農学概論※	1前	2			5						
	バイオテクノロジー論※	1後	2			1	1					
	サステナビリティ農学	1後	2			1	1		1			
	畜産物利用論※	2前	2			1	1		1			
	農産物利用論※	2前	2			1	1		1			
	生活デザイン農学※	2前	2			2	1					
	デザイン農学基礎実験実習・演習	2前	3			6	5		4			
	食品化学※	2前	2			1	1		1			
	デザイン農学栽培入門※	2前		2		2			1			
	デザイン農学専攻別実験実習・演習※	2後	3			6	5		4			
	実験計画法※	2後	2				3		1			1
	社会デザイン農学※	2後	2			1	1		1			
	活用動物飼育学※	2後		2		1			1			
	食品分析学	3前		2		1						
小計(14科目)			—	26	4	0	6	5	0	4	0	1
専門コア科目	生物介在療法学※	2後	2			1	1					
	サイエンスコミュニケーション論※	2後	2			2	1		1			
	栄養調理学※	2後		2		1	1		1			
	食品管理学※	2後		2		2	2		1			
	バイオミク्री論※	3前		2		1	1					
	ESD概論※	3前		2		1	1			2		
	農福医連携デザイン農学※	3前		2		1	1		1			
	食品機能学※	3後		2		2	1			2		
	食品微生物学※	3後		2		1	1			1		
	生き物活用法※	3後		2		2	1					
小計(10科目)			—	4	16	0	6	5	0	4	0	0
学際領域科目	動物管理学※	1後		2					1			3
	農業気象学	2前		2								1
	植物栄養学	2前		2								1
	動物解剖学※	3前		2			1					3
	植物生理生態学	3前		2								2
	農業経営学	3後		2								1
	生命科学	3後		2								2
	自然再生技術論	3後		2								1
	植物生長調節論	3後		2								2
	分子生物学※	3後		2								5
	農産物マーケティング論	3後		2								1
	植物防疫論	3後		2								3
小計(12科目)			—	0	24	0	0	1	0	1	0	24
総合科目	専攻基礎実験実習・演習(一)	3前	3			6	5		4			
	専攻基礎実験実習・演習(二)	3後	3			6	5		4			
	専攻応用実験実習・演習(一)	4前	3			6	5		4			
	専攻応用実験実習・演習(二)	4後	3			6	5		4			
	卒業論文	4通	4			6	5		4			
小計(5科目)			—	16	0	0	6	5	0	4	0	0
合計(102科目)			—	70	129	8	6	5	0	4	0	86

卒業要件及び履修方法

必修科目70単位、選択必修科目12単位(人間関係科目の中から4単位、社会関係科目の中から4単位、自然関係科目の中から4単位)、選択科目42単位以上(ただし、学科専門科目の中から14単位以上)を修得し、合計124単位以上を修得すること。(履修科目の登録の上限:44単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- 専任准教授辞任に伴う、専任教授就任のため専任教員等の配置を変更。
 - 「フレッシュマンセミナー」「共通演習」「農業実習(一)」「基礎演習」「農業実習(二)」「デザイン農学基礎実験実習・演習」「デザイン農学専攻別実験実習・演習」「専攻基礎実験実習・演習(一)」「専攻基礎実験実習・演習(二)」「専攻応用実験実習・演習(一)」「専攻応用実験実習・演習(二)」「卒業論文」／「教授5、准教授5」から「教授6、准教授4」
 - 「生活デザイン農学」「生き物活用法」／「教授1、准教授2」から「教授2、准教授1」
 - 「デザイン農学栽培入門」／「教授1、准教授1」から「教授2、准教授0」
 - 「生物介在療法学」「農福医連携デザイン農学」／「教授0、准教授2」から「教授1、准教授1」
- 時間割調整のため、「英語(一)」「英語(二)」「英語(三)」「英語(四)」の専任教員等の配置を「兼13」から「兼8」に変更。
- クラス数増加により、「英会話(一)」「英会話(二)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- クラス数増加により、「TOEIC英語(一)」「TOEIC英語(二)」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- クラス数増加により、「中国語(一)」「中国語(二)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- クラス数増加により、「スペイン語(一)」「スペイン語(二)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。

【令和元年度】

- 入澤専任助教が専任准教授に昇格したため、専任教員等の配置を変更。
 - 「デザイン農学基礎実験実習・演習」「デザイン農学専攻別実験実習・演習」「専攻基礎実験実習・演習(一)」「専攻基礎実験実習・演習(二)」「専攻応用実験実習・演習(一)」「専攻応用実験実習・演習(二)」「卒業論文」／「准教授4」から「准教授5」、「助教5」から「助教4」
 - 「畜産利用論」「食品化学」「食品微生物学」／「准教授0」から「准教授1」、「助教2」から「助教1」に変更。
 - 「実験計画法」／「准教授2」から「准教授3」、「助教2」から「助教1」
 - 「食品管理学」／「准教授1」から「准教授2」、「助教2」から「助教1」
- 入澤専任助教が専任准教授に昇格及び教育効果向上の理由により専任助教を追加したため専任教員等の配置を変更。
 - 「フレッシュマンセミナー」「共通演習」「農業実習(一)」「基礎演習」「農業実習(二)」／「准教授4」から「准教授5」
- 教育の質的向上のため、「植物生理生態学」「生命科学」「植物生長調節論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- 時間割調整のため、「インターナショナル・スタディーズ(一)」の専任教員等の配置を「兼12」から「兼13」に変更。
- 時間割調整のため、「英語(一)」「英語(二)」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼7」に変更。
- クラス数増加により、「英語(四)」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼8」に変更。
- クラス数増加により、「英会話(二)」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- 時間割調整のため、「TOEIC英語(一)」「TOEIC英語(二)」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼2」に変更。
- クラス数増加により、「中国語(一)」「中国語(二)」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。

【令和2年度】

- クラス数変更により、「英会話(一)」「英会話(二)」の教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
- 時間割調整のため、「生命科学」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- 時間割調整のため、「植物生長調節論」の教員配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- 時間割調整のため、「植物防疫論」の教員配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- 教育の質的向上のため、「バイオテクノロジー論」の専任教員等の配置を「教授1」「准教授1」に変更。
- 教育の質的向上のため、「サステナビリティ農学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」「准教授1」「助教1」に変更。

【令和3年度】

- 時間割調整のため、「基礎演習」「共通演習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」に変更。
- クラス数減少により、「英語(三)・(四)」の専任教員等の配置を「兼8」から「兼7」に変更。
- クラス数減少により、「中国語(一)・(二)」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼3」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
31 科目	67 科目	4 科目	102 科目	31 科目 [—]	67 科目 [—]	4 科目 [—]	102 科目 [—]	変更なし

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{102} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 舎	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	東京農業大学第一高等学校 (収容定員1,050人、面積基準 運動場8,400㎡)、中等部 (収容定員450人、面積基準 運動場4,950㎡)と共用 借用面積：3,570.24㎡ 借用期間：60年 上越土地返還、ゲストハウ ス売却したため(3) 登記簿上錯誤による面積変 更が判明したため(元)					
	校舎敷地	354,079.78㎡	0㎡	15,350.76㎡	369,430.54㎡						
	運動場用地	31,147.98㎡	30,935.81㎡	6,453.99㎡	68,537.78㎡						
	小 計	385,227.76㎡	30,935.81㎡	21,804.75㎡	437,968.32㎡						
	その他	2,662,651.56㎡ 2,664,699.34㎡ 2,664,688.34㎡	0㎡	0㎡	2,662,651.56㎡ 2,664,699.34㎡ 2,664,688.34㎡						
合 計	3,047,879.32㎡ 3,049,837.10㎡ 3,049,916.10㎡	30,935.81㎡	21,804.75㎡	3,100,619.88㎡ 3,049,837.10㎡ 3,102,656.66㎡							
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 建物増築及び改修工事等による用途変更のため(2) 建物増築及び改修工事等による用途変更のため(元) 建物増築及び改修工事等による用途変更のため(30)						
	225,940.09㎡ 238,911.51㎡ 238,894.66㎡ 192,787.86㎡ 190,373.85㎡ (-190,347.54㎡)	0㎡	0㎡	225,940.09㎡ 238,911.51㎡ 238,894.66㎡ 192,787.86㎡ 190,373.85㎡ (-190,347.54㎡)							
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 建物増築及び改修工事等による用途変更のため(3) 建物増築及び改修工事等による用途変更のため(2) 建物増築及び改修工事等による用途変更のため(元) 建物増築及び改修工事等による用途変更のため(30)					
	101室 103室	83室 79室 64室 116室 100室	727室 732室 649室 867室 691室	8室 (補助職員 2人)	0室 1室 (補助職員 0人)						
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		改組等による用途変更のため(3) 改組等による用途変更のため(30)					
	農学部 デザイン農学科			15 12 5 室							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	図書が完成年度の前定数値に達しなかったのは、蔵書の除籍による減のため(3) 図書：新規購入による増(3) 学術雑誌：契約変更による増(3) 視聴覚：新規購入による増(3) 機械・器具：新規購入を上回る除却(3) 和図書：除籍による減(2) 洋図書：新規購入による増(2) 学術雑誌：契約変更による減(2) 視聴覚：新規購入による増(2) 機械・器具：新規購入による増加(2) 図書：新規購入による増(元) 学術雑誌：契約変更による増(元) 視聴覚：新規購入による増(元) 機械・器具：新規購入による増加(元) 標本：新規購入による増加(元) 図書：除籍による減(30) 学術雑誌：契約変更による減(30) 視聴覚：新規購入による増(30) 機械・器具：新規購入を上回る除却(30) ○大学所蔵図書 (大学全体での共用分 290,287 [31,353]) ○学術雑誌、電子ジャーナル (全キャンパス) ○標本 学部単位での特定不能なため、大学全体の数			
		農学部 デザイン農学科	227,581 [40,296] (216,468 [39,356]) (213,205 [38,885]) (213,225 [38,722]) (210,034 [38,288]) (211,142 [38,072])	11,480 [7,152] (18,226 [10,369]) (18,108 [10,290]) (18,514 [10,758]) (10,183 [6,354]) (11,480 [7,152])	7,264 [6,505] (8,388 [8,179]) (8,310 [8,102]) (8,768 [8,583]) (6,830 [5,688]) (7,264 [6,505])	7,756 7,676 7,603 7,482 7,364 (7,756) (7,676) (7,603) (7,482) (7,364)	608 (658) (756) (720) (570) (608)		33,777 (33,778) (33,777)		
	計	227,581 [40,296] (216,468 [39,356]) (213,205 [38,885]) (213,225 [38,722]) (210,034 [38,288]) (211,142 [38,072])	11,480 [7,152] (18,226 [10,369]) (18,108 [10,290]) (18,514 [10,758]) (10,183 [6,354]) (11,480 [7,152])	7,264 [6,505] (8,388 [8,179]) (8,310 [8,102]) (8,768 [8,583]) (6,830 [5,688]) (7,264 [6,505])	7,756 7,676 7,603 7,482 7,364 (7,756) (7,676) (7,603) (7,482) (7,364)	608 (658) (756) (720) (570) (608)	33,777 (33,778) (33,777)				
	(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体				
		8,026.19㎡	1,383		1,162,000						
	(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体 既存施設の用途変更のため(元)				
		10,371.27㎡	野 球 場 2 面 テ ニ ス コ ー ト 6 面								
	(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 費	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度		完成年度	開設年度については平成30年度決算をうけて実績に変更、完成年度については令和2年度当初予算を受けて変更(2) 開設前年度については平成29年度決算を受けて実績に変更(元) 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費及び雑誌資料費を含む。	
			教員1人当り研究費等	327千円		363千円	図書購入費		3,689千円		6,712千円
			共同研究費等	331千円		337千円	設備購入費		0千円		2,058千円
		1,141千円	741千円		8,068千円	16,756千円	26,852千円				
		7,172千円	7,817千円		14,063千円	26,100千円	48,276千円				
学生1人当り納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
		1,485.6千円	1,285.6千円	1,345.6千円	1,415.6千円	— 千円	— 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金収入、寄付金収入、手数料収入 等										

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の前定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
- ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	東京農業大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
農学部		558		2,232		1.03	1.01	—	—	神奈川県厚木市船子1737	
農学科	4	170	—	680	学士(農学)	1.03	1.00	—	昭和24	同上	H31編入定員変更(△16)
動物科学科	4	140	—	560	学士(農学)	1.04	1.07	—	昭和24	同上	H31編入定員変更(△10)
生物資源開発学科	4	125	—	500	学士(農学)	1.04	1.00	—	平成30	同上	
デザイン農学科	4	123	—	492	学士(農学)	1.01	0.98	—	平成30	同上	
応用生物科学部		570		2,280		1.04	1.04			東京都世田谷区桜丘1-1-1	
農芸化学科	4	150	—	600	学士(農学)	1.03	1.00	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更(△10)
醸造科学科	4	150	—	600	学士(農学)	1.05	1.08	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更(△20)
食品安全健康学科	4	150	—	600	学士(農学)	1.04	1.06	平成30	平成26	同上	H31編入定員変更(△10)
栄養科学科	4	120	—	480	学士(農学)	1.04	1.02	—	平成10	同上	H31編入定員変更(△4)
生命科学部		410		1,640		1.04	1.04			東京都世田谷区桜丘1-1-1	
バイオサイエンス学科	4	150	—	600	学士(農学)	1.04	1.06	平成30	平成29	同上	
分子生命化学科	4	130	—	520	学士(農学)	1.02	1.03	平成30	平成29	同上	
分子微生物学科	4	130	—	520	学士(農学)	1.06	1.04	平成30	平成29	同上	
地域環境科学部		490		1,960		1.03	1.04			東京都世田谷区桜丘1-1-1	
森林総合科学科	4	130	—	520	学士(農学)	1.03	1.03	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更(△6)
生産環境工学科	4	130	—	520	学士(農学)	1.02	1.02	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更(△3)
造園科学科	4	130	—	520	学士(農学)	1.03	1.05	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更(△20)
地域創成科学科	4	100	—	400	学士(農学)	1.05	1.07	平成30	平成29	同上	
国際食料情報学部		600		2,400		1.03	1.03			東京都世田谷区桜丘1-1-1	
国際農業開発学科	4	150	—	600	学士(農学)	1.02	1.03	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更(△10)
食料環境経済学科	4	190	—	760	学士(農学)	1.03	1.02	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更(△10)
国際バイオビジネス学科	4	150	—	600	学士(農学)	1.03	1.02	平成30	平成10	同上	H31編入定員変更(△5)
国際食農科学科	4	110	—	440	学士(農学)	1.04	1.06	平成30	平成29	同上	
生物産業学部		363		1,452		1.02	0.95			北海道網走市八坂196	
北方圏農学科	4	91	—	364	学士(農学)	1.02	0.92	—	平成1	同上	R02入学定員変更(△10) R02編入定員変更(△10)
海洋水産学科	4	91	—	364	学士(農学)	1.06	1.05	—	平成18	同上	R02入学定員変更(11)
食香粧化学科	4	91	—	364	学士(農学)	0.97	0.91	—	平成1	同上	R02入学定員変更(11) R02編入定員変更(△12)
自然資源経営学科	4	90	—	360	学士(経営学)	1.03	0.92	—	平成1	同上	R02編入定員変更(△5)
大学全体	4	2,991	—	11,964	—	—	—	—	—	—	

大学の名称	東京農業大学大学院						学生募集停止学科数	22	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	8	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
農学研究科											
博士前期課程	2	36	—	62	—	1.06	1.19	—	—		
農学専攻	2	14	—	28	修士(農学)	1.10	1.28	—	昭和28	神奈川県厚木市船子1737	
動物科学専攻	2	12	—	24	修士(農学)	1.08	1.00	—	昭和61	同上	
バイオセラピー専攻	2	10	—	10	修士(農学)	0.95	1.30	—	平成22	同上	
バイオサイエンス専攻	—	—	—	—	修士(バイオサイエンス)	—	—	—	平成14	東京都世田谷区桜丘1-1-1	令和3年学生募集停止
農芸化学専攻	—	—	—	—	修士(農芸化学)	—	—	—	昭和32	同上	令和2年学生募集停止
醸造学専攻	—	—	—	—	修士(醸造学)	—	—	—	平成2	同上	令和2年学生募集停止
食品栄養学専攻	—	—	—	—	修士(食品栄養学)	—	—	—	昭和61	同上	令和2年学生募集停止
林学専攻	—	—	—	—	修士(林学)	—	—	—	昭和61	同上	令和3年学生募集停止
農業工学専攻	—	—	—	—	修士(農業工学)	—	—	—	平成2	同上	令和3年学生募集停止
造園学専攻	—	—	—	—	修士(造園学)	—	—	—	平成2	同上	令和3年学生募集停止
国際農業開発学専攻	—	—	—	—	修士(国際農業開発学)	—	—	—	平成2	同上	令和3年学生募集停止
農業経済学専攻	—	—	—	—	修士(農業経済学)	—	—	—	昭和28	同上	令和3年学生募集停止
国際バイオビジネス学専攻	—	—	—	—	修士(国際バイオビジネス学)	—	—	—	平成14	同上	令和3年学生募集停止
食品安全健康学専攻	—	—	—	—	修士(食品安全健康学)	—	—	—	平成30	同上	令和2年学生募集停止
博士後期課程											
農学専攻	3	12	—	36	—	0.49	0.50	—	—		
動物科学専攻	3	5	—	15	博士(農学)	0.26	0.40	—	昭和37	神奈川県厚木市船子1737	
バイオセラピー学専攻	3	4	—	12	博士(農学)	0.50	0.50	—	平成2	同上	
バイオサイエンス専攻	3	3	—	9	博士(農学)	0.66	0.66	—	平成24	同上	
バイオサイエンス専攻	—	—	—	—	博士(バイオサイエンス)	—	—	—	平成16	東京都世田谷区桜丘1-1-1	令和3年学生募集停止
農芸化学専攻	—	—	—	—	博士(農芸化学)	—	—	—	昭和34	同上	令和2年学生募集停止
醸造学専攻	—	—	—	—	博士(醸造学)	—	—	—	平成14	同上	令和2年学生募集停止
食品栄養学専攻	—	—	—	—	博士(食品栄養学)	—	—	—	平成14	同上	令和2年学生募集停止
林学専攻	—	—	—	—	博士(林学)	—	—	—	平成2	同上	令和3年学生募集停止
農業工学専攻	—	—	—	—	博士(農業工学)	—	—	—	平成14	同上	令和3年学生募集停止
造園学専攻	—	—	—	—	博士(造園学)	—	—	—	平成14	同上	令和3年学生募集停止
国際農業開発学専攻	—	—	—	—	博士(国際農業開発学)	—	—	—	平成14	同上	令和3年学生募集停止
農業経済学専攻	—	—	—	—	博士(農業経済学)	—	—	—	昭和37	同上	令和3年学生募集停止
国際バイオビジネス学専攻	—	—	—	—	博士(国際バイオビジネス学)	—	—	—	平成16	同上	令和3年学生募集停止
環境共生学専攻	—	—	—	—	博士(環境共生学)	—	—	—	平成2	同上	令和3年学生募集停止
応用生物科学研究科											
博士前期課程	2	76	—	152	—	0.95	0.88	—	—		
農芸化学専攻	2	30	—	60	修士(農学)	1.01	1.00	—	令和2	東京都世田谷区桜丘1-1-1	
醸造学専攻	2	20	—	40	修士(農学)	1.05	0.95	—	令和2	同上	
食品安全健康学専攻	2	20	—	40	修士(農学)	0.77	0.70	—	令和2	同上	
食品栄養学専攻	2	6	—	12	修士(農学)	0.99	0.66	—	令和2	同上	
博士後期課程											
農芸化学専攻	3	12	—	35	—	0.33	0.33	—	—		
醸造学専攻	3	5	—	15	博士(農学)	0.30	0.20	—	令和2	同上	
醸造学専攻	3	2	—	5	博士(農学)	0.25	0.00	—	令和2	同上	
食品安全健康学専攻	3	3	—	9	博士(農学)	0.33	0.66	—	令和2	同上	
食品栄養学専攻	3	2	—	6	博士(農学)	0.50	0.50	—	令和2	同上	

生命科学研究所									
博士前期課程	2	70	—	140	—	2.05	2.05	—	—
バイオサイエンス専攻	2	30	—	60	修士 (農学)	1.93	1.93	—	令和3 東京都世田谷区桜丘1-1-1
修士課程									
分子生命化学専攻	2	20	—	40	修士 (農学)	2.10	2.10	—	令和3 同上
分子微生物学専攻	2	20	—	40	修士 (農学)	2.20	2.20	—	令和3 同上
博士後期課程	3	5	—	15	—	0.00	0.00	—	—
バイオサイエンス専攻	3	5	—	15	博士 (農学)	0.00	0.00	—	令和3 同上
地域環境科学研究科									
博士前期課程	2	32	—	64	—	1.18	1.18	—	—
林学専攻	2	8	—	16	修士 (農学)	1.00	1.00	—	令和3 東京都世田谷区桜丘1-1-1
農業工学専攻	2	8	—	16	修士 (農学)	1.00	1.00	—	令和3 同上
造園学専攻	2	10	—	20	修士 (農学)	1.40	1.40	—	令和3 同上
修士課程									
地域創成科学専攻	2	6	—	12	修士 (農学)	1.33	1.33	—	令和3 同上
博士後期課程	3	6	—	18	—	0.50	0.50	—	—
林学専攻	3	2	—	6	博士 (農学)	0.50	0.50	—	令和3 同上
農業工学専攻	3	2	—	6	博士 (農学)	1.00	1.00	—	令和3 同上
造園学専攻	3	2	—	6	博士 (農学)	0.00	0.00	—	令和3 同上
国際食料農業科学研究科									
博士前期課程	2	43	—	86	—	0.72	0.72	—	—
国際農業開発学専攻	2	18	—	36	修士 (農学)	0.55	0.55	—	令和3 東京都世田谷区桜丘1-1-1
農業経済学専攻	2	8	—	16	修士 (農学)	0.62	0.62	—	令和3 同上
国際アグリビジネス学専攻	2	10	—	20	修士 (農学)	0.60	0.60	—	令和3 同上
修士課程									
国際食農科学専攻	2	7	—	14	修士 (農学)	1.42	1.42	—	令和3 同上
博士後期課程	3	6	—	18	—	1.33	1.33	—	—
国際農業開発学専攻	3	2	—	6	博士 (農学)	2.50	2.50	—	令和3 同上
農業経済学専攻	3	2	—	6	博士 (農学)	0.50	0.50	—	令和3 同上
国際アグリビジネス学専攻	3	2	—	6	博士 (農学)	1.00	1.00	—	令和3 同上
生物産業学研究科									
博士前期課程	2	20	—	40	—	1.12	0.85	—	—
生物生産学専攻	2	7	—	14	修士 (農学)	1.13	0.85	—	平成22 北海道網走市八坂196
アクアバイオ学専攻	2	5	—	10	修士 (農学)	1.10	0.80	—	平成22 同上
食品香粧学専攻	2	5	—	10	修士 (農学)	1.50	1.20	—	平成22 同上
産業経営学専攻	2	3	—	6	修士(農学又は経営学)	0.49	0.33	—	平成22 同上
博士後期課程	3	8	—	24	—	0.66	0.25	—	—
生物産業学専攻	3	8	—	24	博士(農学又は経営学)	0.66	0.25	—	平成7 同上
大学院全体	—	326	—	690	—	—	—	—	—

大学の名称	東京情報大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
総合情報学部 総合情報学科	年	人	年次人 3年次 10	人	1,620	学士(総合情報学)	1.16	1.12	—	平成25	千葉県千葉市若葉区御成台4-1
看護学部 看護学科	4	100	—	400	学士(看護学)	0.87	1.00	—	平成29	同上	
大学全体	4	500	3年次 10	2,020	—	—	—	—	—	—	
大学の名称	東京情報大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
総合情報学研究科 博士前期課程 総合情報学専攻	年	人	年次人 —	人	30	修士(総合情報学)	0.53	0.66	—	平成4	千葉県千葉市若葉区御成台4-1
博士後期課程 総合情報学専攻	3	3	—	9	博士(総合情報学)	0.11	0.00	—	平成11	同上	
大学院全体	—	18	—	39	—	—	—	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
5	5	0	5	15	0	6	5	0	4	15	0
(5)	(5)	(0)	(4)	(14)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
6	5	0	4	15	0	6	5	0	4	15	0
[1]	[0]	[0]	[▲ 1]	[0]	[0]	[1]	[0]	[0]	[▲ 1]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 70 歳	0	0

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{15} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	藤岡 真実	H30.4	必修	フレッシュマンセミナー	①	依願退職のため就任辞退（30）						
					共通演習	①							
					農業実習（一）	①							
					基礎演習	①							
					農業実習（二）	①							
					生活デザイン農学	①							
					デザイン農学基礎実習・演習	①							
					デザイン農学専攻別実習・演習	①							
					生物介在療法	①							
					専攻基礎実習・演習（一）	①							
					専攻基礎実習・演習（二）	①							
					専攻応用実習・演習（一）	①							
					専攻応用実習・演習（二）	①							
					卒業論文	①							
				選択	デザイン農学栽培入門	①							
				農福医連携デザイン農学	①								
				生き物活用法	①								
合計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数					担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)					
1	人	必修	14	科目	必修	14	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	17	科目	計	17	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数					担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数					担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
1	人	必修	14	科目	必修	14	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	17	科目	計	17	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{15} = 6.66\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成30年度において辞任教員の後任採用（専任教授）を行った。そのため、設置時に計画していた授業科目は、後任者が全て担当することになったため、運営において支障は生じない。また、学生への周知は、辞任教員から時間割発表前に辞退の申し入れがあり、時間割等発表時には後任者を掲載したため、担当する科目は全て後任者名において周知を行った。（30）

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (平成29年7月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<農学部 デザイン農学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応	授業等については、原則、対面で実施しているが、オンラインでの実施やオンデマンド配信（2開講分）を認め、柔軟な対応を行い、必要な学修時間を確保する。今後、大幅な変更を行うような状況になった場合は、学生には事前に十分な説明を行うとともに、必要な支援を行う。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 全学的な組織として、全学審議会の下に教学検討委員会を設置している。 ※関係規程等 「東京農業大学学則（一部抜粋）（資料1）」 「東京農業大学全学審議会規程（資料2）」 「全学審議会設置委員会（一部抜粋）（資料3）」 「教学検討委員会運営要項（資料4）」</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 令和2年度は、計6回の委員会を開催した。このほか、メールでの意見聴取を実施した。 委員は、各学部教授から1名計6名、図書館長、情報教育センター長、教務支援部長となっている。 また、副学長（教学担当）がオブザーバーとして参加する。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教学検討委員会活動計画に関する事項 ・ FD活動に関する事項（シラバスの記載内容の変更、シラバスの第三者チェックの実施、オフィスアワーの設定、授業評価への取組み、授業評価結果活用、ナンバリング及びカリキュラムツリーの作成、教育改革推進プロジェクトへの対応、FDワーキンググループの取組み、FD推進ワークショップへの参加、学内FD活動の推進等） ・ 教学に関する事項（年間授業計画、特別講義、世田谷6大学コンソーシアム連携授業、他学部・他学科聴講、GPAの活用計画、学外オリエンテーション実施計画、アクティブラーニング（AL）科目の確認等） ・ 教学検討委員会活動報告に関する事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 新任教員のための研修会の実施 ② 自己教育評価の実施 ③ 授業評価及び学修時間アンケート結果の活用（改善報告書の提出を含む） ④ 任期制教員への面談、指導記録の作成 ⑤ 学生対応セミナー・ハラスメント講習会の実施 ⑥ 外部評価会議の実施 ⑦ ベストティーチャー賞、ベストレクチャー賞の創設 ⑧ 全学FD・SD合同フォーラムの企画 <p>b 実施方法</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 新任の専任教員全員を対象に、学長・副学長・研究科委員長等から、教員としての心得・建学の精神、ハラスメント防止等について説明を行う。更に、学部学科単位で独自の研修やフォローアップを行う。 ② 専任教員全員を対象に、毎年、教育研究活動に関する自己教育評価アンケートを実施する。 平成30年度からは、設問を一部見直し、76項目（自由記述を含む）とするとともにWEBによる回答形式を導入した。 また、結果を所属毎・職階毎に集計し、平均点や得点分布等を所属長及び本人にフィードバックする。 ③ 全学生を対象として前・後学期に各1回「授業評価及び学修時間アンケート」を実施し、実施結果を学生及び教員にフィードバックするとともに、授業評価結果が一定基準に満たない場合は改善報告書の提出を求める。 令和2年度はコロナ禍により主に遠隔授業が実施されたため、設問を一部変更してweb上で実施する。 学修成果の可視化の観点から、回答には学籍番号を記載させる。 ④ 任期制教員への面談及び指導記録の作成を各学部長を中心に各学科で年度末に行う。 ⑤ 教職員を対象とし、学生対応セミナー・障がい学生支援対策研修会・自殺予防に関する研修会を実施する。 ⑥ 本学の教育研究活動について意見を伺う機会とする外部評価会議を実施する。 ⑦ 教育の質向上に貢献した教員を表彰する「ベストティーチャー賞」、特徴的授業を展開した教員を表彰する「ベストレクチャー賞」を実施する。 ⑧ FD・SDに精通した講師を招き、FD・SDに係る取り組みについて講演していただく。
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ① 令和2年度は、コロナ禍につき全体研修を5月初旬にオンデマンドで実施した。新任の専任教員の全員が受講した。
- ② 令和2年度は、令和3年1月に実施した（コロナ禍により例年と内容を一部変更）。専任教員のほぼ全員が回答した。
- ③ 令和2年前学期は、7月に「授業評価及び学修時間アンケート」を実施し、結果を9月に授業担当者及び学生に公開した。後学期は、令和3年1月に「授業評価及び学修時間アンケート」を実施し、結果を3月に授業担当者及び学生に公開した。評価結果が一定基準に満たない授業担当者については、改善計画書の提出を求めた。
- ④ 令和2年度は、令和3年3月に任期制教員全員について実施した。
- ⑤ 令和2年度は、コロナ禍により各種研修会を実施できなかった。前学期は全面遠隔授業となり、学生の所在地確認、各種連絡、生活・学習状況調査等を実施して対応を検討するとともに、意欲低下等の学生の発見に努めた。
- ⑥ コロナ禍により実施できなかった。
- ⑦ 「ベストティーチャー賞」6名、「ベストレクチャー賞」1名を選出し、表彰した。
- ⑧ 令和2年度中の開催を計画していたが、コロナ禍により開催できなかった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ① 新任研修において、建学の精神や沿革など農大独自の方針や歴史を理解させることにより、本学の特長である研究室での教育研究活動の活性化につながっている。また、ハラスメント防止対策の理解を深化させることができた。
- ② 大学全体平均・学部平均との比較により、自身の教育・研究活動の振り返りと改善への意識付けにつながっており、シラバス記載内容の充実等、FD活動への理解促進の一策として効果が上がっている。
- ③ 授業評価結果の活用として、基準を下回った授業担当者全員から、改善計画等報告書を提出させている。
- ④ 任期制教員の教育及び研究の状況を確認し、設定目標に対する指導・アドバイスをを行った。
- ⑤ 調査結果に基づき、学生の通信環境の違い等に対応したオンライン授業方法の検討や学内通信環境整備等を行った。コロナ禍による制約がある中で、効果的な対面授業の実施方法を検討した。
- ⑥ 前年度に外部評価委員からいただいたご意見をFD活動計画に改善事項として盛り込む予定であったが、コロナ禍によりFD活動が停滞した。
- ⑦ 表彰に当たっては、選考理由や表彰者の授業の特徴等を紹介しており、他の教員にとって参考となっている。
- ⑧ 令和3年度には実施したい。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎年、学期末に行っている。（平成27年度からWEBによる授業評価からマークシートによる授業評価に変更して回答率が上昇した。令和2年度は対面授業が少なかったことからアンケートをwebで実施したところ回答率が低下した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

教員に対しては、集計結果を一覧表にしてメールで配信している。評価結果が一定基準に達していない場合は、授業改善計画等報告書の提出を依頼し、文書で回収している。
学生に対しては、集計結果を学科、学年等カテゴリーごとに集計し、学生ポータルで公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学科は食や農などの多面的機能の開発を通じ、持続可能な社会・地域・生活をデザインする極めて広範囲にわたる総合科学を実践する。具体的には、機能性の高い食品の供給、繊維製品や化粧品などの生活資材までを開発するだけでなく、これまでの農学を基盤にした農商工連携や農福連携などの展開も実施するため、関連分野の成果も取り入れる理論と実践をバランスよく取り入れた次世代型の極めて特色のある学科である。そのために、本学科では、生物や生産物の機能性を解明し、効果的に活用するだけでなく、様々な生物や加工および品質評価から、それを利用する消費者の生活までをカバーし、単に生存することに留まらず、食と農との持続的なシステムに基づいた、社会、地域、生活を設計（デザイン）するという特色のある学科であり、農学の総合科学という点に重点をおいている。

完成年度にあたる令和3年度入学試験（一般入試）では、合格倍率はA日程入試で2.9倍（平成30年度3.0倍、平成31年度2.8倍、令和2年度1.9倍）、B日程入試で3.2倍（平成30年度11.7倍、平成31年度4.4倍、令和2年度2.8倍）となり、本学科に対する高校生のニーズが高いことが確認することができた。新入生1221名を迎え入れ、2年生120名、3年生125名、4年生119名とあわせ489名（留年生含む）の学生に対して学科の目的に沿った教育研究を確実に実行し、社会から必要とされる人材を養成していく所存である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和3年7月31日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和3年7月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成31年度（令和元年度）に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審し適合認定

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [(有) ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。